令和５年度 事業再評価対象外事業の取組状況 - （過去に事業再評価を実施した事業であって、かつ大阪市建設事業評価実施要綱第８条に定める、事業再評価を除くことができる事業）

【再評価対象外となる理由】
①維持管理事業、災害復旧事業、耐震改修事業
②既存施設等の建替え又は更新、かつ用途の変更を伴わない事業
③翌年度までに完了予定の事業、事業費の執行済比率が80%以上の事業

【対応方針】
事業継続（Ａ）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（Ｂ）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（Ｃ）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
Ａ:事業費進捗率について　①計画どおりに進捗している
　②計画どおりに進捗していない
Ｂ:事業内容について　（ｉ）計画どおりに進捗している
　（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	再評価 対象外理由	平成30年度 事業再評価時点 （再評価対象外事業は未記入）		自己評価時点										
			対応 方針	今後の取組方針				取組状況　（単位：億円） 30年度 （事業再評価時）	元年度	2年度	3年度	4年度	・4年度の取組内容 ・自己評価結果 ・計画どおりに進捗していない場合、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由	再評価後の進捗状況について ※対象外事業は平成30年度以降
H30 -01	街路事業 [建設局] 歌島豊里線整備事業	③	事業継続 （Ａ）	今後、平成36年に予定している阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業による高架切り替え後の、速やかな交差部の整備へ向けて、重点的に事業を実施し、平成39年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	247	247	247	247	247	［4年度の取組内容］ 用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。	用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。 なお、平成28年度に阪急京都線・千里線との交差部を除き整備は完成している。
							累計	241	242	242	242	242		
							進捗率	98%	98%	98%	98%	98%		
						完了年度		R9	R9	R9	R9	R9	［自己評価結果］ ②（ｉ）	
					実績	事業費	全体	247	247	247	247	247		
							累計	241	241	241	241	241	［理由］ 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、道路整備に向けた関係機関との調整を進めており、事業進捗が図れている。	
							進捗率	98%	98%	98%	98%	98%		
						完了年度		R9	R9	R9	R9	R9		
H30 -02	街路事業 [建設局] 本庄西天満線（神山）整備事業	③	事業継続 （Ｂ）	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と道路整備を進め、平成39年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	191	191	191	191	191	［4年度の取組内容］ 用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。	用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。
							累計	165	165	166	167	171		
							進捗率	86%	87%	87%	87%	90%		
						完了年度		R9	R9	R9	R9	R9	［自己評価結果］ ②（ｉ）	
					実績	事業費	全体	191	191	191	191	191		
							累計	165	165	165	166	166	［理由］ 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、道路整備に向けた関係機関との調整を進めており、事業進捗が図れている。	
							進捗率	86%	86%	87%	87%	87%		
						完了年度		R9	R9	R9	R9	R9		
H30 -03	道路事業 [建設局] 国道479号清水共同溝整備事業	③	事業継続 （Ａ）	本事業については、共同溝を整備することにより道路の掘り返し防止による都市交通の円滑化、地震災害時のライフラインの安全性向上による都市防災性の向上が図れることから、事業を継続することとし、今後の工事における工事工程管理、工事発注計画について調整し、平成32年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	110	110	110	110	110	［4年度の取組内容］ 立坑部付帯工事および付帯設備工事を実施した。	平成30年度事業再評価時点では、平成32年度の完成予定計画であったが、入溝企業体工事と付帯設備工事の工程調整の結果、令和６年度の完成予定に計画変更となった。 その後、令和４年度に進捗の遅れが生じたものの全体計画の進捗に影響は生じない。
							累計	96	100	101	102	103		
							進捗率	87%	91%	92%	93%	94%		
						完了年度		R2	R2	R6	**R6**	R6	［自己評価結果］ ②（ｉ）	
					実績	事業費	全体	110	110	110	110	110		
							累計	98	100	101	102	102	［理由］ 付帯設備の製作に時間を要したため事業費進捗率が計画通りに進捗しなかった。	
							進捗率	89%	91%	92%	93%	93%		
						完了年度		R2	R2	**R6**	R6	R6		

令和５年度 事業再評価対象外事業の取組状況 - （過去に事業再評価を実施した事業であって、かつ大阪市建設事業評価実施要綱第８条に定める、事業再評価を除くことができる事業）

【再評価対象外となる理由】
①維持管理事業、災害復旧事業、耐震改修事業
②既存施設等の建替え又は更新、かつ用途の変更を伴わない事業
③翌年度までに完了予定の事業、事業費の執行済比率が80%以上の事業

【対応方針】
事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について　①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について　（ⅰ）計画どおりに進捗している
（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	再評価 対象外理由	平成30年度 事業再評価時点 （再評価対象外事業は未記入）		自己評価時点										
			対応 方針	今後の取組方針				取組状況　（単位：億円） 30年度 （事業再評価時）	元年度	2年度	3年度	4年度	・4年度の取組内容 ・自己評価結果 ・計画どおりに進捗していない場合、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由	再評価後の進捗状況について ※対象外事業は平成30年度以降
H30 -04	住区基幹公園整備事業 [建設局] 巽公園整備事業	③	事業継続 （C）	残りの用地買収や施設整備を行い、コスト削減を図りながら、着実に事業実施を進める。	計画	事業費	全体	162	162	162	162	162	［4年度の取組内容］ 用地取得にかかわる説明を行うとともに、境界確定に向けた用地測量の実施について交渉し了承を得た。	【南西部エリア】 南西部エリアは、土壌汚染が確認されたことから、当初計画から遅れがあったものの、整備は完了した。 平成３０年度　実施設計 令和１・２年度　整備工事 【南東部エリア】 都市計画公園事業の実施予定について説明を行った。
							累計	158	159	159	159	162		
							進捗率	98%	98%	98%	98%	100%		
						完了年度		R5	R5	R5	R5	R5	［自己評価結果］ ②（ⅱ）	
					実績	事業費	全体	162	162	162	162	162	［理由］ 用地取得に向けた調整が難航しているため。	
							累計	158	158	158	159	159		
							進捗率	98%	98%	98%	98%	98%		
						完了年度		R5	R5	R5	R5	R5		
H30 -05	下水道事業 [建設局] 大阪市公共下水道事業（合流式下水道改善事業）	③	事業継続 （A）	合流改善事業については、下水道法施行令により達成年限が規定されていることから、局運営方針に基づき、既存施設の有効活用、新技術等の導入や他事業連携も検討し、長堀滞水池や住之江滞水池等の実施により、令和5年度末での事業完了に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	2,000	**1,500**	1,500	1,500	1,500	［4年度の取組内容］ 住之江下水処理場雨水滞水池等の整備工事を進めた。	合流改善事業については、下水道法施行令により達成年限が規定されていることから、局運営方針に基づき、既存施設の有効活用、新技術等の導入や他事業連携も検討し、長堀滞水池や住之江滞水池等の実施により、令和5年度末での事業完了に向けて重点的に事業を実施する。 令和元年度には、近年の流入水量の減少などから計画を見直し、対策規模を縮小した結果、全体事業費が減少した。 また、住之江下水処理場雨水滞水池の工事においては、工事進捗の遅れにより令和7年度末までの工期延伸が生じたが、令和5年度末までには既存施設の暫定活用により、法令で定める水質基準を遵守する予定である。
							累計	1,053	1,143	1,174	1,191	1,232		
							進捗率	53%	76%	78%	79%	82%		
						完了年度		R5	R5	R5	R5	**R7**	［自己評価結果］ ①（ⅰ）	
					実績	事業費	全体	2,000	**1,500**	1,500	1,500	1,500	［理由］ ―	
							累計	1,053	1,128	1,166	1,191	1,232		
							進捗率	53%	75%	78%	79%	82%		
						完了年度		R5	R5	R5	**R7**	R7		
H30 -06	下水道事業 [建設局] 大阪市公共下水道事業（高度処理事業）	③	事業継続 （B）	高度処理事業については、法令に基づき下水道事業者がその責務を果たす必要があり、局運営方針に基づき、既存施設の効果的な有効活用や新技術等の導入も検討し、予算の範囲内で水処理施設の更新に合わせた実施により、平成37年度での水質環境基準の達成に向けて重点的・継続的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	350	350	350	350	350	［4年度の取組内容］ 海老江下水処理場等の水処理施設の工事を進めた。	海老江下水処理場等の水処理施設の工事を進めており、令和7年度末に事業完了の見込みである。 また、令和４年度に事業の進捗状況を踏まえて事業費を精査した。
							累計	37	137	217	264	268		
							進捗率	11%	39%	62%	75%	77%		
						完了年度		R7	R7	R7	R7	R7	［自己評価結果］ ①（ⅰ）	
					実績	事業費	全体	350	350	350	350	**300**	［理由］	
							累計	37	94	178	213	248		
							進捗率	11%	27%	51%	61%	83%		
						完了年度		R7	R7	R7	R7	R7		

令和５年度 事業再評価対象外事業の取組状況 - （過去に事業再評価を実施した事業であって、かつ大阪市建設事業評価実施要綱第８条に定める、事業再評価を除くことができる事業）

【再評価対象外となる理由】
①維持管理事業、災害復旧事業、耐震改修事業
②既存施設等の建替え又は更新、かつ用途の変更を伴わない事業
③翌年度までに完了予定の事業、事業費の執行済比率が80%以上の事業

【対応方針】
事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について　①計画どおりに進捗している
　　②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について　（ⅰ）計画どおりに進捗している
　　（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	再評価 対象外理由	平成30年度 事業再評価時点 （再評価対象外事業は未記入）		自己評価時点										
			対応 方針	今後の取組方針				取組状況（単位：億円）					・4年度の取組内容 ・自己評価結果 ・計画どおりに進捗していない場合、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由	再評価後の進捗状況について ※対象外事業は平成30年度以降
								30年度 （事業再評価時）	元年度	2年度	3年度	4年度		
H30 -07	土地区画整理事業 [都市整備局] 大阪都市計画事業三国東地区土地区画整理事業	③	事業継続 （A）	建物移転や公共施設の整備について、他地区の従前居住者用住宅の活用や移転用地・公共施設用地の確保のため換地不交付などの様々な事業促進を図る手法を活用し、令和10年度での完了に向けて着実に事業を継続実施する。	計画	事業費	全体	474	474	474	474	474	[4年度の取組内容] 様々な事業促進を図る手法を活用し、移転用地・道路用地を確保するなど円滑に事業を推進した。	令和10年度の換地処分に向け、様々な事業促進を図る手法を活用し、おおむね計画通りに事業は進捗している。 令和4年度末進捗状況 ・建物移転　70.2% ・街路築造　33.2% ・街路排水　41.9%
							累計	305	321	352	374	392		
							進捗率	64%	68%	74%	79%	83%		
						完了年度		R10	R10	R10	R10	R10	[自己評価結果] ②(ⅰ)	
					実績	事業費	全体	474	474	474	474	474		
							累計	305	321	346	360	384	[理由] 権利者都合などによる移転計画の見直しを行い、執行計画を変更したため、事業費進捗率は計画未満となったが、この変更は今後予定している事業スケジュールに影響しないものである。	
							進捗率	64%	68%	73%	76%	81%		
						完了年度		R10	R10	R10	R10	R10		
H30 -08	土地造成事業 [大阪港湾局] 第6貯木場土地造成事業	③	事業継続 （A）	早期の土地利用開始に向けて基盤整備を着実に進める。	計画	事業費	全体	60	60	60	60	60	[4年度の取組内容] 令和４年10月より道路の供用を開始した。	平成30年度より、上水道・下水道工事、令和２年度より道路工事を着実に進め、令和３年度に想定の４倍以上の価格で土地を売却（①予定価格約28億円→落札金額約159億円、②予定価格約23億円→落札価格110億円）、令和４年度には道路の供用を開始した。残る北側の道路については、咲洲東地区埋立事業の進捗に合わせて整備を行う。
							累計	53	59	59	59	59		
							進捗率	88%	98%	98%	98%	98%		
						完了年度		R8	R8	R8	R8	R8	[自己評価結果] ①(ⅰ)	
					実績	事業費	全体	60	60	60	60	60		
							累計	53	57	59	59	59	[理由]	
							進捗率	88%	95%	98%	98%	98%		
						完了年度		R8	R8	R8	R8	R8		
H30 -09	街路事業 [建設局] 北野今市線整備事業	③			計画	事業費	全体	329	329	329	329	329	[4年度の取組内容] 道路整備を実施し事業進捗を図った。	[事業期間を変更した理由] 先行する関係工事に遅れが生じたため、事業完了が見込める令和7年度まで期間を延伸している。
							累計	319	319	319	320	320		
							進捗率	97%	97%	97%	97%	97%		
						完了年度		R3	R3	R3	R7	**R7**	[自己評価結果] ①(ⅰ)	
					実績	事業費	全体	329	329	329	329	329		
							累計	319	319	319	320	320	[理由]	
							進捗率	97%	97%	97%	97%	97%		
						完了年度		R3	R3	R3	**R7**	R7		

令和５年度 事業再評価対象外事業の取組状況 - （過去に事業再評価を実施した事業であって、かつ大阪市建設事業評価実施要綱第８条に定める、事業再評価を除くことができる事業）

【再評価対象外となる理由】
①維持管理事業、災害復旧事業、耐震改修事業
②既存施設等の建替え又は更新、かつ用途の変更を伴わない事業
③翌年度までに完了予定の事業、事業費の執行済比率が80%以上の事業

【対応方針】
事業継続（Ａ）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（Ｂ）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（Ｃ）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
Ａ：事業費進捗率について　①計画どおりに進捗している
　　②計画どおりに進捗していない
Ｂ：事業内容について　（ⅰ）計画どおりに進捗している
　　（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	再評価 対象外理由	平成30年度 事業再評価時点 （再評価対象外事業は未記入）		自己評価時点											
			対応 方針	今後の取組方針				取組状況 （単位：億円） 30年度 （事業再評価時）	元年度	2年度	3年度	4年度	・4年度の取組内容 ・自己評価結果 ・計画どおりに進捗していない場合、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由	再評価後の進捗状況について ※対象外事業は平成30年度以降
H30 -10	街路事業 [建設局] 田辺出戸線（長吉出戸）整備事業	③			計画	事業費	全体	36	36	36	36	36	［4年度の取組内容］ 用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。	用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。 なお、当該路線は、都市計画道路の概ねの機能を満足しており概成している。
							累計	35	36	36	36	36		
							進捗率	97%	99%	100%	99%	99%		
						完了年度		R2	R2	R2	**R7**	R7	［自己評価結果］ ②（ⅰ）	
					実績	事業費	全体	36	36	36	36	36		
							累計	35	35	35	35	35	［理由］	
							進捗率	96%	96%	96%	96%	96%	権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、道路整備に向けた関係機関との調整を進めており、事業進捗が図れている。	
						完了年度		R2	R2	**R7**	R7	R7		
H30 -11	街路事業 [建設局] 長吉線整備事業	③			計画	事業費	全体	34	34	34	34	34	［4年度の取組内容］ 用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。	用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。 なお、当該路線は、都市計画道路の概ねの機能を満足しており概成している。
							累計	33	34	34	34	34		
							進捗率	97%	99%	100%	99%	99%		
						完了年度		R2	R2	R2	**R5**	R5	［自己評価結果］ ②（ⅰ）	
					実績	事業費	全体	34	34	34	34	34		
							累計	33	33	33	33	33	［理由］	
							進捗率	97%	97%	97%	97%	97%	権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていないが、道路整備に向けた関係機関との調整を進めており、事業進捗が図れている。	
						完了年度		R2	R2	**R5**	R5	R5		
H30 -12	街路事業 [建設局] 生野線整備事業	③			計画	事業費	全体	40	40	40	40	40	［4年度の取組内容］ 用地取得に向け、用地交渉を行い事業進捗を図った。	［事業期間を変更した理由］ 権利者との用地交渉に時間を要しているが、引き続き用地交渉や調査を実施し、事業完了の見込める令和7年度まで期間を延伸している。
							累計	37	40	37	37	37		
							進捗率	93%	100%	92%	92%	92%		
						完了年度		R1	R1	**R5**	R7	**R7**	［自己評価結果］ ①（ⅰ）	
					実績	事業費	全体	40	40	40	40	40		
							累計	37	37	37	37	37	［理由］	
							進捗率	92%	92%	92%	92%	92%		
						完了年度		R1	**R5**	R5	**R7**	R7		

令和５年度 事業再評価対象外事業の取組状況 - （過去に事業再評価を実施した事業であって、かつ大阪市建設事業評価実施要綱第８条に定める、事業再評価を除くことができる事業）

【再評価対象外となる理由】
①維持管理事業、災害復旧事業、耐震改修事業
②既存施設等の建替え又は更新、かつ用途の変更を伴わない事業
③翌年度までに完了予定の事業、事業費の執行済比率が80%以上の事業

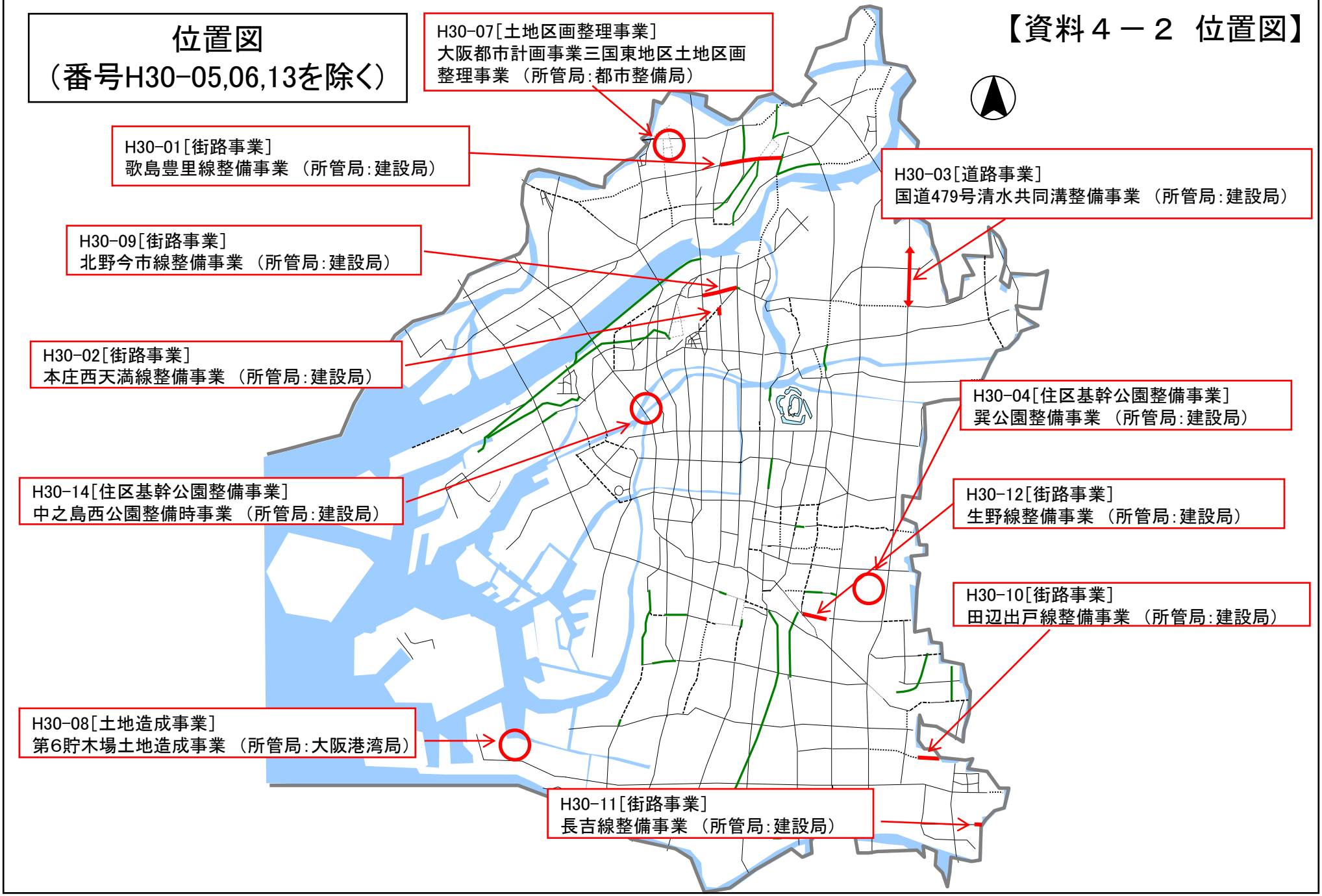
【対応方針】
事業継続（A）：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続（B）：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続（C）：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A：事業費進捗率について　①計画どおりに進捗している
　　②計画どおりに進捗していない
B：事業内容について　（ⅰ）計画どおりに進捗している
　　（ⅱ）計画どおりに進捗していない

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	再評価 対象外理由	平成30年度 事業再評価時点 （再評価対象外事業は未記入）		自己評価時点										
			対応 方針	今後の取組方針				取組状況　（単位：億円） 30年度 （事業再評価時）	元年度	2年度	3年度	4年度	・4年度の取組内容 ・自己評価結果 ・計画どおりに進捗していない場合、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由	再評価後の進捗状況について ※対象外事業は平成30年度以降
H30 -13	街路事業 [建設局] 中之島歩行者専用道2号線整備事業	※			計画	事業費	全体	23	23	23	23	23	［4年度の取組内容］	※民間事業者による区画整理事業を実施予定のため評価の対象外とする。
							累計	22	22	22	22	23		
							進捗率	96%	96%	96%	96%	100%		
						完了年度		R4	R4	R4	R4	R4	［自己評価結果］	
					実績	事業費	全体	23	23	23	23			
							累計	22	22	22	22		［理由］	
							進捗率	96%	96%	96%	96%			
						完了年度		R4	R4	R4	R4			
H30 -14	住区基幹公園整備事業 [建設局] 中之島西公園整備事業	③			計画	事業費	全体	55	55	55	55	55	［4年度の取組内容］ 用地取得にむけた交渉を継続し成立に至ったため、次年度からの補償調査、取得契約にむけ関係部署との協議調整を行った。	平成30～令和4にかけて用地交渉の実施。 令和元には測量・境界確定を行った。
							累計	53	53	54	55	55		
							進捗率	96%	96%	98%	100%	100%		
						完了年度		R4	R4	R4	R4	R4	［自己評価結果］	
					実績	事業費	全体	55	55	55	55	55	②（ⅱ）	
							累計	53	53	53	53	53	［理由］	
							進捗率	96%	96%	96%	96%	96%		
						完了年度		R4	R4	R4	R4	**R9**	用地取得に向けた調整が難航していたが、用地交渉において事業を完了させられる見通しができたため、引き続き、用地買収や整備を行い、事業完了をめざす。	

【資料４－２　位置図】

位置図
（番号H30-05,06,13を除く）



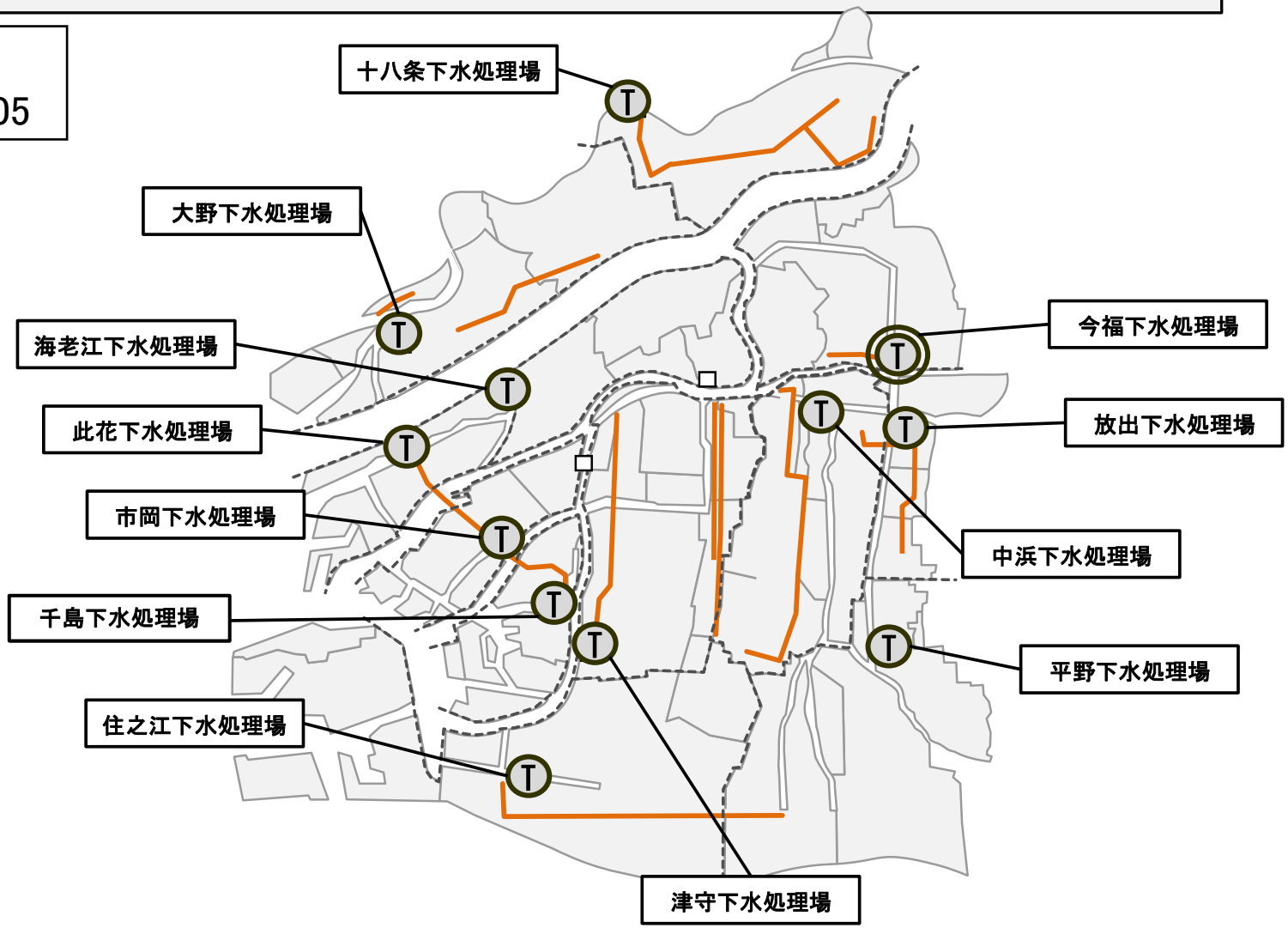
H30-05 [下水道]⑤大阪市公共下水道事業（合流式下水道改善事業）

Ⓣ 雨天時下水活性汚泥処理法（３W処理法）　全12処理場に導入

O 凝集剤添加型傾斜版沈殿処理法　１処理場に導入

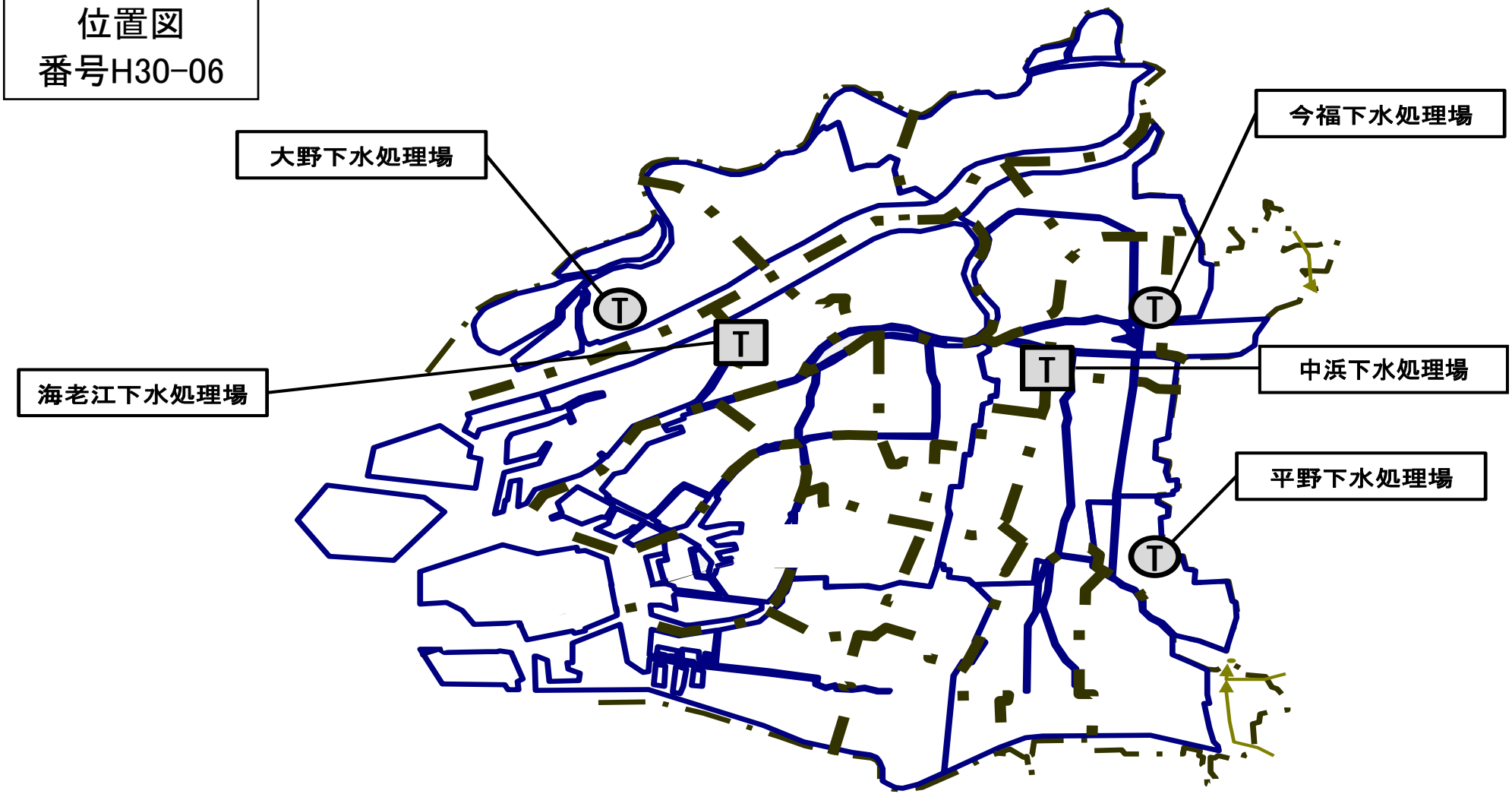
□ 雨水滞水池（下水道幹線及び滞水池）　約32万m^3

位置図
番号H30-05



H30-06 [下水道]⑥大阪市公共下水道事業（高度処理事業）

T 水処理施設の再構築　２か所

T 既設水処理施設の改造（設備機器更新等）　３か所

位置図
番号H30-06